

各教科の学習の仕方

新居浜市立川東中学校

◇国語科

国語科の学習は、すべての学習の基礎・基本です。「話す・聞く」・「書く」「読む」の学習を丁寧に行い、伝え合う力を高めましょう。

1 毎日の学習の仕方をチェックしましょう。

- ① 進んで読書をしていますか。・・・「読む」
読書をすることにより、集中力が高まり、言葉が豊かになります。自分の好きな本ばかりでなく、教科書に紹介されている本、本校の推薦図書、新聞などを読んで、世界を広げましょう。
- ② 授業に集中できていますか。・・・「読む」「書く」
休み時間に道具の準備をし、その日の授業内容は何かを確認しましょう。また、話をしっかり聞いて理解することを目指しましょう。ノートは濃く丁寧な文字で書きましょう。発表や音読をするときは、しっかりした声で、一番遠いところにいる人に声を届けましょう。・・・「話す・聞く」
- ③ 家庭学習は充実していますか。・・・「読む」「書く」
ワークやプリントなど、授業中にできなかったことは必ず家で仕上げておきましょう。習った漢字を使って丁寧に書きましょう。教科書の文章を音読しましょう。
- ④ 辞書で語句や漢字の意味を調べていますか。・・・「言語」
辞書を開くと思いがけない発見があります。新しい言葉を知る喜びを味わいましょう。
- ⑤ 漢字テストで合格点が取れていますか。・・・「言語」
毎日の漢字練習は、濃く、丁寧に、正しく書き、答え合わせは一文字ずつ確認しながら行いましょう。漢字は書いて覚えるのが一番有効です。
- ⑥ 毎日の「いぶき」を丁寧に書いていますか。・・・「書く」
書き出しの言葉を工夫する、テーマを決めて書くなど、「・・・したこと日記」から卒業しましょう。愛媛県の高校入試では、25分間で400字の作文が出題されます。
- ⑦ TPO（時、場所、場合）に合った言葉遣いできていますか。・・・「話す・聞く」
伝え合う力を高めるためにも、その場にふさわしい言葉を選び、語尾（話の最後）まで丁寧にはっきり発言しましょう。



2 中学校卒業までに漢字検定3級取得をめざしましょう。文章検定にも挑戦しましょう。

問題集を購入し、自分で学習を進めましょう。



3 テスト前には、復習に力を入れましょう。

日々の学習がテストにつながります。ノートやワークの見直しがとても大切です。

テスト1週間前までには準備ができているか確認をしておきましょう。「必要なプリントがない。休んだときのノートが白紙だった。未提出の課題があった。」ということがないように、普段から面倒がらずに確認しましょう。

◇社会科

社会科は、暗記の教科ではありません。社会科を学習する目的は、「みんなが幸せな生活を送ることができる社会を構成する力を、一人一人が身につけること」です。

そのためには、自分たちの地域の特色、世界の中での日本の立場や現状をしっかりとつかみ（地理的分野）、それぞれの地域や国の文化を作ってきた歴史を知る（歴史的分野）が必要になってきます。そのことによって、お互いが理解を深めていくことができます。その上で、今の政治や経済など世の中のしくみを学び（公民的分野）、より幸せな社会をつくることを目指して、社会を支えていく人としての基礎を身につけていく学習です。

1 予習

- ① 次に学習する教科書の内容を読み、大切だと思うところにアンダーラインを引きましょう。
- ② 教科書の重要語句（太字）について調べておきましょう。

2 授業中

- ① 集中して先生の話をよく聞き、重要語句の内容はその時間に理解しましょう。
- ② 板書の内容や教科書の丸写しではなく、自分で考え工夫してノートやワークシートにまとめましょう。書くことで自分の考えが整理できます。
- ③ 社会科は、自分の考えをもつことが大切な教科です。自分の意見を積極的に発表しましょう。
- ④ グラフなどの作業学習を丁寧に行いましょう。

3 復習

- ① 教科書の重要語句（太字）、資料を再度見直して理解しましょう。
- ② 問題プリント（ワーク）の問題を繰り返し解いて理解しましょう。



4 学習のポイント

- ① 教科書こそ最も利用できる参考書です。教科書、地図帳、年表を利用しましょう。知らない場所は、すぐに地図帳で探してみましょう。
- ② 重要語句は、覚えるだけでなく、自分の言葉で説明できるようになりましょう。
例えば、聖徳太子について説明するのであれば、「聖徳太子は、推古天皇の摂政となり中国や朝鮮に学び、天皇中心の国づくりを行った人物です。」というようにポイントを押さえて説明できるようにしましょう。そうすれば、「十七条の憲法」や「冠位十二階の制度」の重要語句の内容もなるほど！と楽に理解することができます。
- ③ 疑問に思ったり関心を持ったりしたことについて、自分で資料を探して調べてみましょう。例えば、「夏野菜のキュウリやナスが、なぜ、高知県では冬に出荷されているのだろうか？」というように、「なぜ？」と疑問を持つことが大切です。
- ④ 写真やグラフなどから必要な情報を読み取りましょう。
- ⑤ 新聞を読んだり、テレビのニュース番組、「世界ふしぎ発見！」などの地理に関する番組、NHKの大河ドラマや時代劇などの歴史に関する番組などを見たりして、今の日本、世界の出来事や歴史に関心を持ちましょう。



◇数学科

数学は暗記をせずに考える教科と思われがちですが、中学・高校までの数学は、暗記教科と言っても過言ではありません。

では、何を暗記するのか？「 $3 - (-5) = 8$ 」という問題を暗記するのか？それは違います。解き方を暗記するのです。問題を解くパターンを身につけるのです。中学1年生では基本的な事柄を勉強します。2, 3年生では、その基本的な事柄をもとに、応用問題にも取り組みます。数学の力をつけるには、根気よく、繰り返し問題を解くことが大切です。

「継続は力なり」です。

1 まずは授業が勝負です。

授業中に学習する内容をしっかりと理解しましょう。そのためには授業中の話を真剣に聞くことが大切です。そして、積極的に発表していくことです。わかる質問には手を挙げ、自信がない質問に対しても勇気を出して手を挙げていきましょう。授業中発表するのとならないのでは全然取り組み方が違ってきます。

2 宿題や忘れ物を絶対にしないようにしましょう。

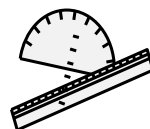
授業で学習したことを理解していたと思っていても、数日たつと忘れてしまいます。しかし、学習内容を身につけるために必要なことを宿題として出されます。それは先生が必要だと思った内容です。それを忘れて、いい加減にしたりするとどうなるでしょうか？ 自分のために頑張ってください。苦勞した分、力になります。楽をすると力になりません。わからなかったら、調べたり、先生や友達に聞いたりする努力が大切です。

3 結果より、途中の式や考え方を大切にしましょう。

計算問題を解くときに、途中の式を書かない人がいます。途中の式をきちんと書くようにしましょう。なぜ、途中の式を書くのか？それは、間違いをなくすためです。そして、自分が間違っていることを後から振り返ることができます。どの段階で間違えたのかよくわかり、次から同じ間違いをすることがなくなります。

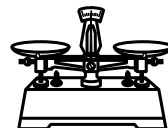
4 テスト勉強について

テスト範囲の内容は確実に復習しておきましょう。授業中に使っているワーク、教科書、プリントの間違った問題は、絶対にもう一度解いておきましょう。テスト範囲の内容についてはすべて解くという気構えがテストには欲しいです。自主ノートを1冊作ってそれに解いていきましょう。テスト終了後の間違い直しも大切です。重要な内容だから、テストに出題されます。解けなかった問題をそのままにしておくと、実力はつきません。間違い直しをきちんとして、次につなげていきましょう。



◇理科

身の回りのことに大変関係のある教科です。学習していく中で「？」が「！」になることでしょう。普段から「なぜ？」という疑問をもち、一つずつ「わかった！」と感じられるように取り組んでいきましょう。

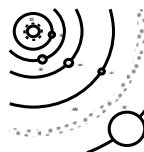


1 授業が第一です。

- ① 授業に集中して取り組み、学習した内容は、教科書やノートを利用してその日のうちに復習し、しっかり頭に入れましょう。
- ② 実験や観察には真剣に取り組む、方法や結果、授業中に注意したことなどをしっかり覚えておきましょう。実験や観察に積極的に取り組むことで、その技能も身につきます。

2 問題をしっかり解きましょう。

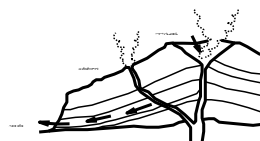
- ① 教科書、ワークの問題、ノートなどを見直ししながら、自分の力で解いていきましょう。わからなかった問題を自分で調べることは大きな力となります。
- ② 一度間違った問題は、同じような間違いをする可能性が高いです。そのような問題は、2日ほどして再度取り組むことを心がけましょう。本当に理解しているならば解けるはずですが、さらに間違った場合は、時間をおいてまた取り組みましょう。その繰り返して確実に理解できるようになります。



3 用語などを確実に覚えましょう。

中学校の理科では、理科学語がたくさん出てきます。その用語を覚えるときに、どのようなことを意味しているかも理解しながら覚えましょう。また、実験・観察した場面や図をしっかりイメージしながら覚えるとよいと思います。

予習よりも復習を大切にしましょう！

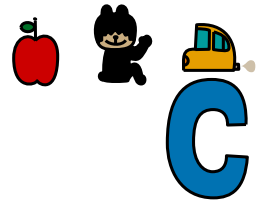


◇英語科

英語を使って、積極的にコミュニケーションができるようになりましょう。

1 授業までに

- ① 授業の準備をします。
- ② 忘れ物をしないようにしましょう。
- ③ 宿題は必ず家でしてくるようになりましょう。



2 授業中

- ① 先生の説明を集中して聞きましょう。
- ② 発音練習のときは、恥ずかしがらず、大きな声で正確に発音しましょう。
- ③ 授業用ノートは後から見てもわかりやすいように、きれいにまとめましょう。
- ④ 積極的に発表しましょう。
- ⑤ 単語・熟語・基本文・音読・暗唱は英語学習の基礎・基本です。

3 家庭学習

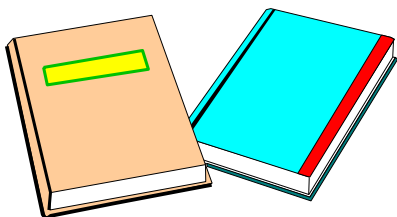
- ① 学校で学習した単語・熟語・基本文は、その日のうちに書いたり発音したりして復習し、覚えましょう。
- ② 習った本文を繰り返し音読して暗唱できるようにしましょう。
- ③ 余裕があれば、NHKの「ラジオ基礎英語」を聞いてみましょう。時間が合わなければタイマー機能で録音して後で聞いたり、市販されているテキストやCDを利用したりして挑戦してみましょう。
- ④ 身の回りにも、たくさんの英語があります。どんなところにどのような英語が使われているか、探してみましょう。

4 毎日の単語練習

- ① 日付が抜けていたり、意味を書き忘れていたりする人が多いです。確認して提出するようにしましょう。
- ② 長い単語や熟語は間違いやすいです。正確に書きましょう。1回目の単語を間違えるとその後すべて間違えてしまいます。気をつけましょう。

5 テスト勉強

- ① 単語や連語を覚えているか確認しましょう。読める、書ける、意味がわかることが大切です。
- ② 本文を音読し、書く練習をしましょう。暗唱、暗写ができる人は、挑戦しましょう。
- ③ 授業中に使ったプリントやワークを見直しましょう。間違った問題を何度も解くと力がつきます。



◇ 音楽科

音楽は大きく分けて「表現」と「鑑賞」の2つの領域があります。

「表現」では、歌唱（歌う）・器楽（演奏する）・創作（作る）の活動を通して、音楽から感じ取ったことを表現する力を育てます。「鑑賞」（聴く）では、さまざまな音楽に興味をもち、耳や目で味わう力を育てます。

1 授業の受け方

- ① 歌唱や器楽の実技活動では、積極的に表現しましょう。グループ活動は、お互いの意見や表現を交換し合って、より良い表現ができるように工夫しましょう。
- ② 気持ちの良い姿勢で授業に臨みましょう。特別教室での授業も教室での授業と同じです。
- ③ 作曲家やその国の歴史や文化など、音楽の背景にも興味をもって鑑賞しましょう。

2 学習の仕方

- ① 返事をするときや発表するときは、大きな声で、はっきり言いましょう。
- ② 失敗を恐れないようにしましょう。音楽を聴き、映像を見て感じたことを全身で表現しましょう。
- ③ 芸術関連のテレビ番組を視聴して「感じる力」を育てましょう。
- ④ 休日や長期の休みのときはぜひいろいろな演奏会に出向き、「本物」に触れてみましょう。



u r .C.

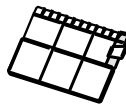


◇ 美術科

美術科では、作品制作やさまざまな作品を鑑賞することによって、ものづくりの力や、豊かな発想で想像できる力を養っていきます。そして、生涯にわたって、美しいものを美しいと感じる豊かな心を育てます。また、自分で作品を作ることで、普段から美術を楽しむ活動を充実させていきます。

1 授業の受け方

- ① 作品作りを楽しみましょう。苦手だと思わず、チャレンジ精神で制作しましょう。
- ② 自分の作品のよいところを知り、友達の作品のよいところも認め合いましょう。
- ③ 自分や友達の作品や道具を丁寧に扱きましょう。
- ④ 週に1時間程度しか授業がありません。だからこそ、時間を大切にして集中しましょう。忘れ物をしないようにしましょう。



2 家庭学習の仕方

- ① 細かいことや面倒なことも、最後までやり遂げる気持ちを育てましょう。
- ② 日常生活の中にあるものをじっくり眺めたり、観察したりする視点（感性）を高めましょう。美術館での作品鑑賞など、美しいものや優れた芸術作品に触れる機会をもちましょう。
- ③ 日曜美術館などの美術に関するテレビ番組を見たり、市立図書館に足を運んだりして、画集などを見てみましょう。
- ④ 好きな画家や漫画家、イラストレーターの作品を見つけて、眺めたりまねをしたりして、楽しむことから始めましょう。

◇ 保健体育科

生涯にわたって健康で安全な生活を送るために必要な能力を育てる教科です。

そのためには「心」も「体」も健康であることが大切です。

【保健学習】 心身の成長を理解し、健康で安全な生活を送るために大切なことを学びます。健康で安全な生活を送ることは人間の一生にかかわることですから、真剣に学習しましょう。

【体育学習】 一人一人が自分の能力に応じた課題や目標を持って運動に取り組みます。課題を解決し、目標を達成する経験をすることによって、運動の楽しさや喜びを味わいましょう。

中学時代は、体格や体力・運動能力が急速に発達する時期です。また、考えたり、判断したりする能力も高まる時期です。いろんなスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツを楽しむ力を身につけましょう。スポーツを行うには、一人で行う場合もあれば、仲間と楽しんだり、競い合ったりする場合があります。ルールを守り、お互いを尊重する態度も身につけましょう。

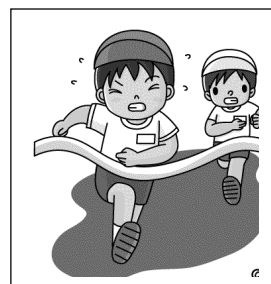
1 授業の前に

心身の健康は、楽しく充実した生活を過ごすために大切なことです。体育分野は、運動することが中心となりますから、良い健康状態で授業を受けることは基本です。水泳など、学習内容によっては命にかかわることもあります。食事をきちんととったり、早寝早起きをしたり、普段から規則正しい生活を心がけ、健康な状態で授業を受けられるようにしましょう。

2 授業の受け方

(保 健)

- ① 教科書やノートなど、必要なものを忘れないようにしましょう。
- ② 大人になっても健康的な生活ができるように、学んだことをしっかり身につけ、普段の生活でも活用しましょう。



(体 育)

- ① 服装を整えて授業を受けましょう。
- ② 見学する場合は、「いぶき」の後ろのページにある見学届けを提出しましょう。保護者の方や担任の先生と、みんなの健康状況を共通理解するために必要なことです。
- ③ 運動場や体育館に移動します。時間を考えて行動しましょう。
- ④ 準備運動は真剣にしましょう。健康を守るためです。
- ⑤ 準備や片付けは、みんなで協力して行いましょう。
- ⑥ 苦手な種目だと思っても、チャレンジ精神で取り組みましょう。
- ⑦ 体操服の貸し借りは、衛生面からしないでください。
- ⑧ 用具やボールはみんなで使う大切なものです。勝手に使わないようにしてください。

◇ 技術・家庭科

生活に必要な基礎的な知識や技術を身につけ、毎日の生活の中で生かしましょう。
また、家庭生活をよりよくするために、工夫したり実行したりする力をつけましょう。

1 授業の受け方

- ① 話を聞くときは、集中して静かに聞きましょう。
- ② 準備物を確認し、実習に参加しましょう。
- ③ わからないことは進んで質問し、苦手なことにも一生懸命取り組みましょう。

2 学習の仕方

- ① 学習した内容を、教科書やワークなどで確認しておきましょう。
- ② 作業したり実習したりしたことを家庭でも実践し、生活の場で生かしましょう。
- ③ 家族や地域の方と一緒に行事などに参加し、知識や技術を学びましょう。

